

D I A M高金利通貨ファンド

<愛称：通貨セレクション>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M高金利通貨ファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、円建ての外国投資信託への投資を通じて、インカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月12日～2018年9月13日

第125期	決算日：2018年5月11日	
第126期	決算日：2018年6月11日	
第127期	決算日：2018年7月11日	
第128期	決算日：2018年8月13日	
第129期	決算日：2018年9月11日	
第130期	償還日：2018年9月13日	
償還日 (2018年9月13日)	償還価額	3,054.08円
	純資産総額	402百万円
第125期～ 第130期	騰落率	△2.8%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

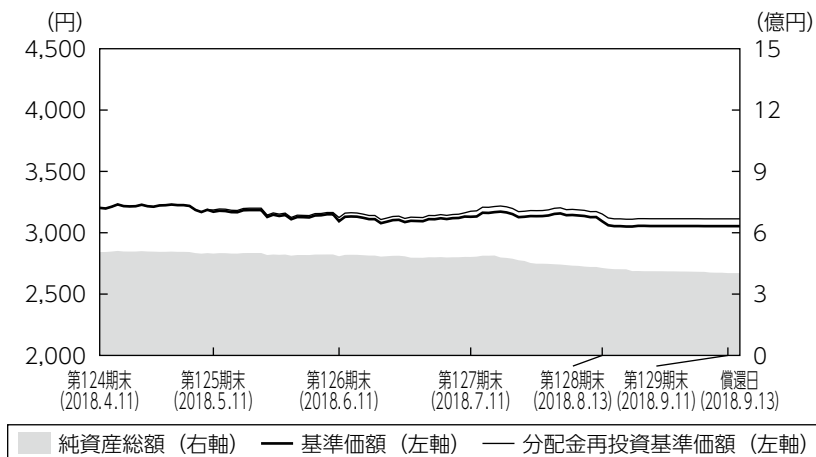
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第125期首： 3,203円
 償還日： 3,054.08円
 (既払分配金60円)
 騰落率： $\Delta 2.8\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、市場予想通り米国で2018年6月に利上げが実施されたことや、メキシコ大統領選挙の結果を受けた新政権への期待から、米ドルとメキシコペソが対円で上昇したことはプラスに寄与しました。一方で、NAFTA（北米自由貿易協定）交渉の難航やトルコの政局不安、英国のEU離脱交渉の難航などがマーケットに不透明感をもたらし、多くの通貨が対円で下落したことがマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

また、当ファンドは設定来で25.0%下落しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金4,575円）。2008年の金融危機後に各中央銀行が金融緩和政策を通じて市場に流動性を供給した結果、オーストラリア、ブラジル、メキシコ等の高金利国への資金流入がみられた一方、2016年の米国大統領選挙を通過し投資家が慎重な投資行動を取ったことなどもあり、期間を通じて円高傾向となったことがマイナスに寄与しました。

◆組入ファンドの騰落率

組入ファンド	当作成期
D I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) クラスF	$\Delta 2.6\%$
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	$\Delta 0.6\%$

- (注1) D I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) クラスFの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
- (注2) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間 (D I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) クラスFは2018年9月7日まで、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドは2018年8月13日まで) の騰落率です。

1 万口当たりの費用明細

項目	第125期～第130期 (2018年4月12日 ～2018年9月13日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	11円	
(投信会社)	(4)	(0.114)	
(販売会社)	(7)	(0.234)	
(受託銀行)	(1)	(0.018)	
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	11	0.366	

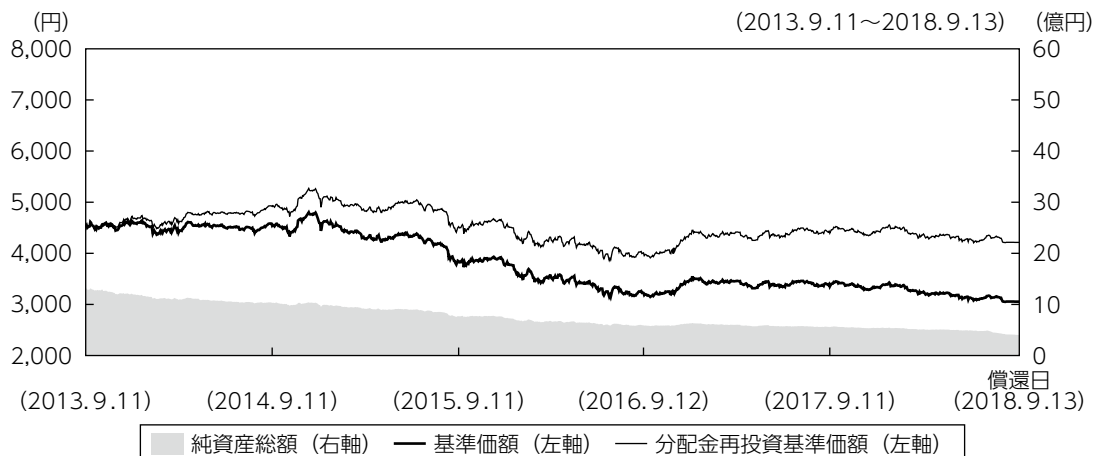
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2013年9月11日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2013年9月11日 期首	2014年9月11日 決算日	2015年9月11日 決算日	2016年9月12日 決算日	2017年9月11日 決算日	2018年9月13日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	4,522	4,540	3,844	3,224	3,350	(償還価額) 3,054.08
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	360	360	195	180	165
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	8.7	△8.0	△11.4	9.6	△4.1
純資産総額 (百万円)	1,329	1,027	768	590	554	402

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

設定来の投資環境

外国債券市場では、2008年の金融危機後、各中央銀行の金融緩和政策がもたらした過剰流動性により、オーストラリア、ブラジル、メキシコ等の高金利国への資金流入の傾向がみられました。また、グローバルな金融緩和傾向を受けて国債利回りは概ね低下（価格は上昇）しました。

為替市場では、2008年の金融危機以降、2012年後半にかけて円高傾向が継続しました。その後は2013年に新たに選任された黒田日銀総裁の下で実施された大胆な金融緩和政策を受け、円安が進行する局面もありましたが、近年では各中央銀行が金融正常化への動きを顕在化させる中で、投資家が新興国や高金利国への投資に慎重となったこともあり、それらの国の通貨に対して円高傾向が継続しました。

国内債券市場は上昇（利回りは低下）しました。当ファンドの設定以降、米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向けの住宅ローン）問題による信用不安や世界的な景気後退懸念などを背景に国内債券市場は堅調に推移しました。さらに2010年には欧州債務問題の深刻化などによりリスク回避の動きが継続し、市況を押し上げました。各国が金融緩和を行う中、日銀は2013年に黒田氏が総裁に就任すると、「量的・質的金融緩和」、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」などの政策を次々と打ち出し、これらによる需給の引き締めなどを背景に、作成期末まで概ね上昇基調で推移しました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

D I A Mマルチカレンシーファンド（J P Y）クラスFの組入比率は原則として高位を維持し、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンドへの投資も行いました。

●D I A Mマルチカレンシーファンド（J P Y）クラスF

運用開始初期はハンガリーやアイスランド等の高ボラティリティ（価格の変動性）国へ投資していましたが、2008年の金融危機以降、より安定的な通貨へシフトしてきました。2010年には景気改善の傾向を見せたインドを加え、米国が金融政策を引き締め方向に舵切りした際には米国を加えました。直近の運用では、世界経済への不透明感の高まりから、先進国通貨の比率を高位に保つ運用を行ってきました。

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるNOMUR A - B P I 総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては、第125期から第128期は運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。また、第129期は残存信託期間を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2018年4月12日 ～2018年5月11日	2018年5月12日 ～2018年6月11日	2018年6月12日 ～2018年7月11日	2018年7月12日 ～2018年8月13日	2018年8月14日 ～2018年9月11日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	-円
対基準価額比率	0.47%	0.48%	0.48%	0.48%	-%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	-円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	223円	225円	228円	230円	230円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

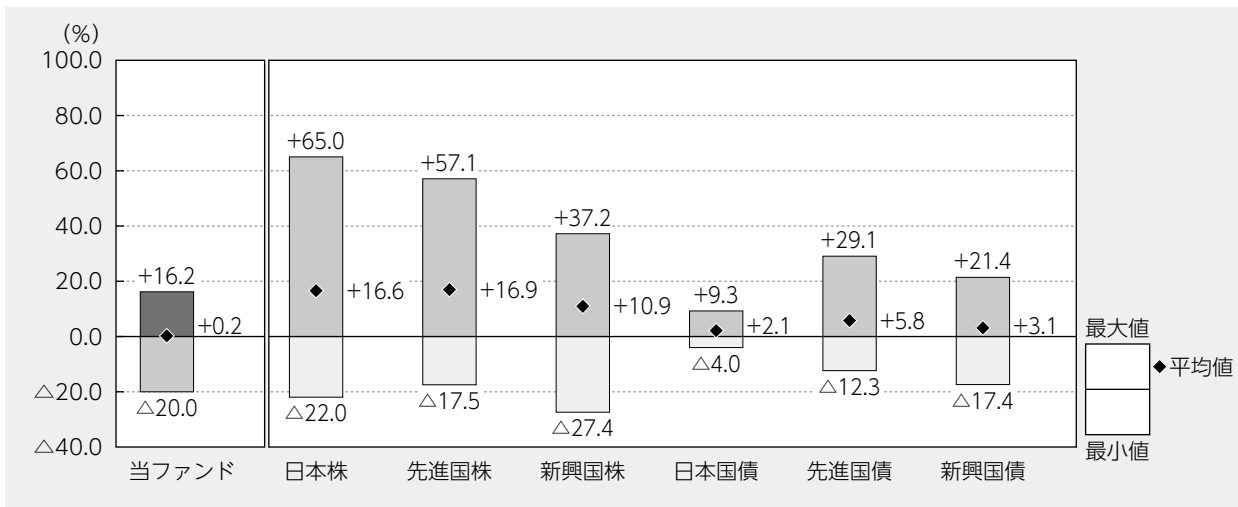
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2007年12月27日から2018年9月13日（当初無期限）までです。
運用方針	インカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	円建ての外国籍投資信託である「D I A Mマルチカレンシーファンド（J P Y）クラスF」受益証券および円建ての国内籍投資信託である「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャルペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	円建ての外国籍投資信託および円建ての国内籍投資信託への投資比率は、通常の状態においては円建ての外国籍投資信託への投資を中心とします ^(*) が、各受益証券への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案の上決定することを基本とします。 ^(*) 通常の状態においては円建ての外国籍投資信託への投資比率は概ね90%以上をめどとします。 投資対象ファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日（原則として毎月11日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。毎年4月、10月の決算時には、原則として利子配当益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年9月～2018年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

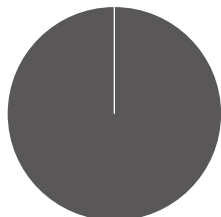
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2018年9月13日現在)

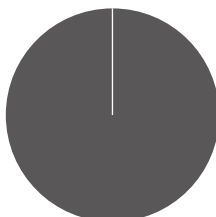
当ファンドに組入れておりました有価証券は作成中に全て売却し、また親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

◆資産別配分



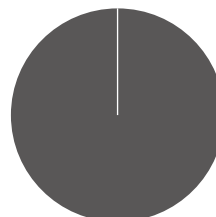
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	償還時
	2018年5月11日	2018年6月11日	2018年7月11日	2018年8月13日	2018年9月11日	2018年9月13日
純資産総額	498,086,503円	485,031,396円	481,610,452円	427,671,846円	402,666,752円	402,635,676円
受益権総口数	1,570,531,465口	1,567,632,600口	1,538,626,869口	1,382,714,639口	1,318,353,287口	1,318,353,287口
1万口当たり基準 (償還) 価額	3,171円	3,094円	3,130円	3,093円	3,054円	3,054.08円

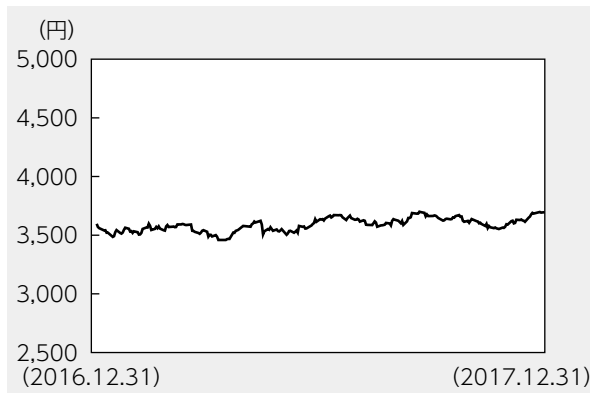
(注) 第125期～償還時における追加設定元本額は26,201,768円、同解約元本額は286,366,459円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【D I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) クラスF】 (計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日)

◆基準価額の推移



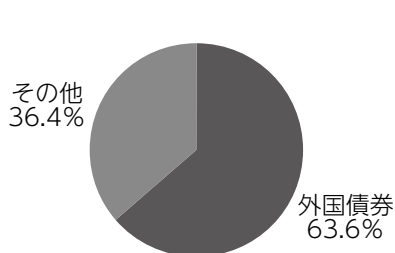
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIA (COMMONWEALTH OF) BDS 5.5% 10-21/1/18	オーストラリア・ドル	21.5%
NORINCHUKIN BANK LONDON (USD) CD 26/1/18	アメリカ・ドル	10.9
COOPERATIEVE RABOBANK UA BDS 7.5% 14-15/1/18	南アフリカ・ランド	8.8
EUROPEAN INVESTMENT BANK BDS 5.25% 13-3/9/18	トルコ・リラ	8.0
EUROPEAN INVESTMENT BANK BDS 1.375% 13-15/1/18	イギリス・ポンド	8.0
EUROFIMA (USD) CP 12/2/18	アメリカ・ドル	6.5
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	6銘柄	

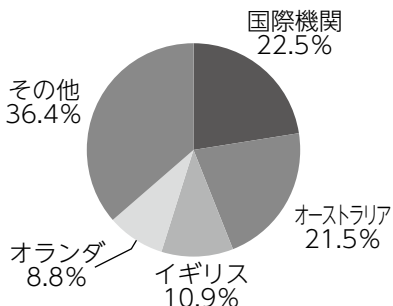
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

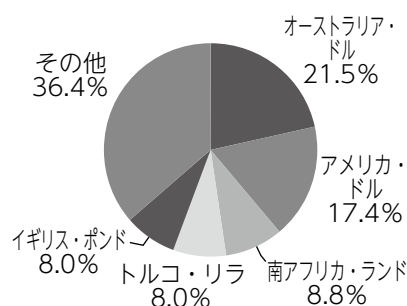
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

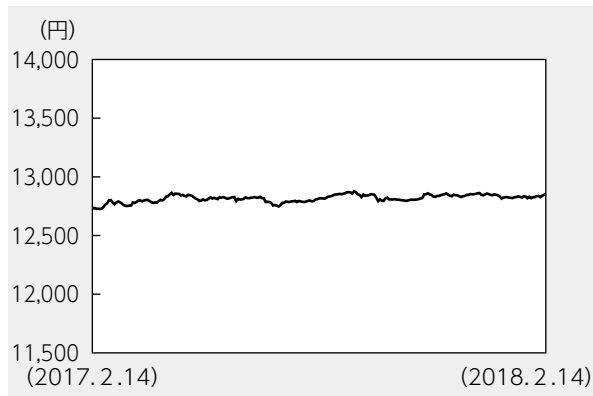


- (注1) 基準価額の推移はD I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) クラスFの計算期間 (決算日が休日の場合は前営業日まで) のものです。また、分配金を再投資したものととしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、D I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) の直近の決算日 (決算日が休日の場合は前営業日) 現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はD I A Mマルチカレンシーファンド (J P Y) の純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 当ファンドは為替予約取引を活用しています。実質的な通貨別配分については、運用報告書 (全体版) に記載されています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるルクセンブルグみずほ信託銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2017年2月15日～2018年2月14日)

◆基準価額の推移



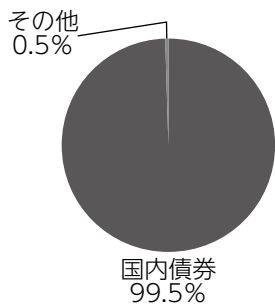
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 4回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1%
1 2 2回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1
1 1 7回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.1
1 1 8回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
3 4 1回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
1 3 3回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
1 3 1回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
1 2 9回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0
3 4 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
組入銘柄数	412銘柄	

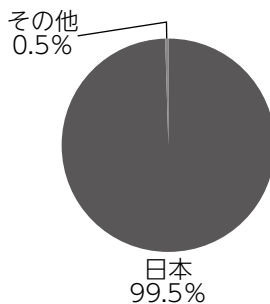
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

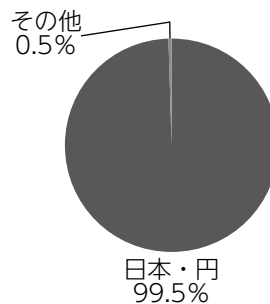
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。